

Manabin

FREE



manami♥ru [まなみーる岩見沢市民会館・文化センター広報誌]



＜今月の特集＞

電気信号の音楽とダンス トークセッション
連載／交響詩岩見沢と私
開催決定／「NHKのだ自慢」

ELECTRONICA AND DANCE

——「電気信号の音楽とダンス」——

出演者インタビュー



■ 吉武： 皆さんとはこれまで何度もご一緒させていただいていますが、改めてダンスを始めたキッカケをお聞きたいです。

鈴木： 僕は小学校のクラブ活動で少年隊の振付を教えてくれる先生がいて、ビデオを観て覚えていました。当時、そのクラブの部長をつとめていた兄に勧められ始めました。

浜田： 学校でダンスの講師をしていた母からの影響ですね。小学校3・4年生から運動不足でちょっと太り過ぎていたこともあって、なんとかしなきゃと思い始めました。

加藤： 僕も母の影響で始めました。母が札幌のダンスカンパニーに入っていたので、3歳頃に遊びについて行って、踊りたいって自分から言い始めました。

■ 吉武： すごい、加藤くんは3歳でやりたいって言ったんだ。やはり皆さん家族の影響のようですが、その後はどのようにダンスの世界に進んでいったのですか？

鈴木： 始めはブレイクダンスの派手な動きやアクロバットが好きで、ひたすら技系の練習をしていたのですが、そこから地元のダンススタジオに通い始めて舞台上で踊る面白さを知りハマって行きました。北海道教育大学岩見沢校に入ってから、表現全般やアートに興味を湧き、ドイツで一人旅をしながら自分の表現について模索したこともありました。卒業後はミュージカル「エリザベト」のトートダンサーとして全国ツアー225公演に出演するほか、韓国や香港で自分の作品を発表しました。

浜田： 僕は9歳からダンススタジオ舞人(マインド)に所属し、様々なジャンルを学びました。大学に入ってから本格的にコンテンポラリーダンスの作品づくりを始め、『横浜ダンスコレクション』などの様々なコンクールで賞を頂きました。その後ダンス留学でフランスに渡り、今はオルガンワークスというカンパニーで活動しています。

加藤： 僕は最初ヒップホップから始めましたが、中学生のときにジャズコンテンポラリーダンスの作品に出演したのがきっかけで、現代的なダンスの世界に魅かれていきましたね。

■ 吉武： 3人に共通しているのは芸術全般に興味があり、自身の舞台作品を創ることができることですよね。近ごろはどのような活動をしていますか？

加藤： AI(アイ)のコンサートに参加させていただいたのがきっかけで、バックダンサーの面白さを知り、現在までSMAP、安室奈美恵、DREAMS COME TRUE などのステージに立たせていただきました。去年5月にはJanet Jacksonのオーディションを受けにL.Aまで行き、ファイナリストの60人に残ることができましたが落ちてしまいました。悔しいですが今年こそは絶対受かってやるぞと意気込んでいます！

鈴木： 僕は札幌市内でダンススタジオLoRe(ロア) を経営しつつ、東京の舞台にも出演しています。また、龍谷学園高校の講師として体育の授業を担当したり、児童発達支援施設でのダンス授業を行ったりと教育や福祉の場面でもダンス指導を行っています。

浜田： 最近は演劇の舞台に上がることが多いです。演劇は作品に対する取り組み方がダンスと結構違うのでとても勉強になりますね。俳優の方たちと「飴を齧るな」というユニットを新たに立ち上げ公演を控えています。



JUNPEI HAMADA
浜田 純平 氏

Produce：吉武裕二(HamanasuArt) | Music：Kim yooi
Dance：鈴木明倫/浜田純平/加藤正汰郎 | VJ：かとうたつひこ

〔主催〕NPO法人はまなすアート&ミュージック・プロダクション

〔後援〕岩見沢市、岩見沢市教育委員会〔舞台・音響〕AIR SO・AQ〔照明〕祇王舎

全公演入場無料

本公演は、北海道教育大学岩見沢校芸術文化コースの先輩である鈴木明倫さん、同期の加藤正汰郎君、2018年栗沢地区芸術鑑賞会「春と修羅」に出演して頂いた浜田純平さんの3名をキャスティングしました。札幌を拠点に活動しつつ、道外・国外でも幅広い活躍をみせる3人の新進気鋭のダンサーです。そして初の試みとなるVJ(ヴィジュアルジョッキー)のかとうたつひこさんとのコラボレーション。どのような映像がその場で作り出されるのかとても楽しみです。また自分自身もKim yooiという名前で音楽を担当いたします。音楽×ダンス×映像、この3つがどのように融合し、特異な空間を創り出すのか。今回のインタビューでは、それぞれのメインアクターの意気込みを伺いました。それではご覧下さい！

プロデューサー 吉武裕二/音楽 Kim yooi

■ 吉武： 鈴木明倫さん、加藤正汰郎さんは北海道教育大学岩見沢校を卒業されていますが、何か岩見沢への思いはございますか？

鈴木： 僕の生まれは美瑛市なので、ここら辺は故郷みたいなものですね。札幌で育ったけど、また大学で岩見沢に戻って、この土地に呼ばれている感覚はずっとあります。

加藤： 実は曾祖母が岩見沢でばんじゅう屋さんをやっていたんです。僕も大学進学をきっかけに岩見沢に来て、色々な繋がりを感じ、岩見沢が好きになりました。そして今でもこうして公演をきっかけに岩見沢に戻れるのは嬉しいです。



SHOTARO KATO
加藤 正汰郎 氏

■ 吉武： さて、本題となりますが、今回の芸術鑑賞会では3公演それぞれのテーマを掲げ、皆さんに創作していただきます。どのような演出を考えていますか？

浜田： 今回は映像演出もあるので、五感を研ぎ澄まし現実とは離れた空間と一緒に創れたらと思います。北村公演のテーマは「ノイズ」なので、パチンコ店に行ってサウンドハンティングをしてきました。その音を使って3人で踊りたいと思っています。

加藤： 栗沢公演の「サイレンス」はすごく難しいです。コンテンポラリーダンスといえば無音でも踊れるイメージがありますよね。だからこそそれを全部崩壊させたい。サイレンスの違った面をみせることが出来たらと思います。

鈴木： 岩見沢公演のテーマ「アンビバレンス」とは両価性って意味で、異なる二つの対極のものが一緒に存在することだから、両方を感じて対極になりますね。その二つのものを考えているときに「錯覚」というキーワードが出てきて、ノイズからサイレンスに移り変わる境目とか、そのどちらかがわからないポイントも表現したいなと思います。



AKINORI SUZUKI
鈴木 明倫 氏

■ 吉武： これから更にリハーサルを重ねて、3公演それぞれ違った面白さを出せたら良いですね。では、最後にお客様へのメッセージをお願いします。

加藤： ダンスを、音楽を、映像を、空間全てを体感しにきてください！

浜田： もしよろしければ、3公演全て観に来て頂けると嬉しいです。

鈴木： 来たらわかる、とりあえず来ないとわからない公演だと思うので、是非来て下さい！

北村 栗沢 岩見沢地区芸術鑑賞会

2019.3.10(SUN) OPEN 13:30 / START 14:00

北村公演-NOISE-

会場 岩見沢市北村環境改善センター 多目的ホール
(岩見沢市北村赤川595番地4)

2019.3.17(SUN) OPEN 13:30 / START 14:00

栗沢公演-SILENCE-

会場 北海道社会福祉事業団 福祉村 体育館
(岩見沢市栗沢町最上350番地1)

2019.3.24(SUN) OPEN 13:30 / START 14:00

岩見沢公演-AMBIVALENCE-

会場 まなみーる岩見沢市民会館 大ホール
(岩見沢市9条西4丁目1番地1)

お問合せ 0126-22-4235(はまなすアート)



「交響詩岩見沢と私」

第2回 前野 雅彦

「交響詩岩見沢」。その名前を聞いたのは中央小学校に在学中だったと思う。もうかれこれ40年近くが過ぎている。今でも面影を残す校舎は建て替えにより旧校舎となり、当時小学生だった自分の小さな体が震えるほどの感動を感じた体育館もまた、ひっそりとたたずんでいる。



岩見沢市立中央小学校(旧校舎)

6年生の卒業式で、全校で歌うというのが慣例だったのであろう。ひょっとしたら高学年だけが歌ったのかもしれない。音楽担当の泉 良樹先生から「冒頭部分は低音なので先生方が歌います。君たちはその後から入ってください」とのご指示があり、練習が始まった。「暗い場面から始まったわりには明るく、賑やかに終わる曲だなあ」という印象を持った「第二章」。卒業式で聞いたその冒頭の低音は、僕の心に深く刻まれた。その後光陵中学校にて斎藤 正純先生の熱心なご指導もあり、小学生の時では味わうことのできなかった「開拓の風景」に、まるでその登場人物のように胸躍らせていた。

その後しばらくの間北海道を離れ、10数年後に家族とともに北海道に戻ってから、長い間その存在を忘れていた「交響詩岩見沢」を今、不思議なご縁をいただいて歌い続けている。

大人になってから感じること。まさにこの歌は一大叙事詩であるとともに、開拓に夢を馳せ、開拓後の街に希望を託した多くの人たちの想いが込められていると、強く感じている。

僕もまた一人の歌い手として、この大いなる叙事詩の語り部の一人としてこの時代に歌えることに感謝している。そして願わくばこの想いがまるでこの地へ開拓者を運んだ石狩川のように悠々と時を経て流れ、またとどまることなく再びあふれ出てくることを願うのである。

交響詩岩見沢の会ファイナルステージ

合唱のつと

「交響詩岩見沢」よ永遠に

日程	2019年6月23日(日) 14:00開演・16:00終演予定
会場	まなみーる岩見沢市民会館大ホール
入場料	無料（入場整理券は4月上旬より配布予定）

第1幕 「合唱のつと」
市内合唱団による演奏

第2幕 「交響詩岩見沢」よ永遠に
指揮 相澤 清
ピアノ演奏 瀬戸 裕子
エレクトーン演奏 香川 衣里

お問合せ 0126-22-4235（はまなすアート内）



「NHKのど自慢」がやってくる！

NHK札幌放送局と岩見沢市では、「NHKのど自慢」を実施します。この番組は、“歌で思いを届ける！”をテーマに、地域のみなさんの元気な歌声を全国にお届けします。出場および観覧をご希望の方は以下の要領でお申し込みください。

- 【日時】 2019年4月21日(日) 開演:午前11時45分 終演予定:午後1時30分
- 【予選会】 4月20日(土) 開会:午前11時45分 結果発表:午後5時30分頃予定
- 【会場】 まなみーる岩見沢市民会館〔北海道岩見沢市9条西4丁目1-1〕
- 【主催】 NHK札幌放送局、岩見沢市
- 【運営協力】 NPO法人はまなすアート&ミュージック・プロダクション
- 【出演】 <出場> 予選を通過した20組程度のみなさん
<ゲスト> 石川 さゆり、北島兄弟(北山 たけし & 大江 裕)



石川 さゆり



北島兄弟(北山 たけし&大江 裕)

出場申込 往復はがきで3月14日(木) 必着

返信の表面	往信の裏面
62 <返信> 代表者の ①郵便番号 ②住所 ③名前	①郵便番号 ②住所 ③全員の名前(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦職業 (中学生・高校生・大学生は 部活動なども記入) ⑧(申込者が中学生の場合) 保護者名と電話番号 ⑨歌う曲目とその歌手名 ⑩選曲理由(詳しく)
往信の表面	返信の裏面
62 <往信> (住所不要) NHK札幌放送局 「NHKのど自慢 (岩見沢市)出場」係	※こちらの面には 何も記入しないで ください。 (抽選結果を印刷 して返送します。)

※必ず【62円】にして下さい。

【注意事項】

- 応募者の中から、250組程度を選出のうえ、前日の予選会にご出場いただきます。当選の方には予選会のご案内を、落選の方には落選通知を4月2日(火)頃発送します。
- 中学生以上で、原則としてアマチュアの方が対象です。ただし、中学生は予選会・本選どちらも保護者の同伴が必要ですので保護者の名前と電話番号もご記入ください。
- 応募は1人(組) 1通とさせていただきます。
- グループでお申し込みの場合は、全員の「名前(ふりがな)」「年齢」「性別」「職業」を明記のうえ、代表者がお申し込みください。
- キーの指定や、応募後の曲目・出場者の変更はできません。
- 記入に不備があった場合や郵便料金が不足の場合は無効となりますのでご注意ください。
- 「返信用裏面」には、選出結果を印刷しますので、白紙のままお送りください。紙・シール等の貼り付け、修正液や摩擦熱等で文字が消えるボールペンのご使用はお控えください。

観覧申込 往復はがきで3月25日(月) 必着

返信の表面	往信の裏面
62 <返信> 代表者の ①郵便番号 ②住所 ③名前	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④電話番号
往信の表面	返信の裏面
62 <往信> 岩見沢市4条西3丁目1番地 であえる岩見沢 4階 「NHKのど自慢 (岩見沢市)観覧」係	※こちらの面には 何も記入しないで ください。 (抽選結果を印刷 して返送します。)

※必ず【62円】にして下さい。

【注意事項】

- 応募多数の場合は、抽選のうえ、当選の方には入場整理券(1枚で2人入場可)を、落選の方には落選通知を4月2日(火)頃発送します。
- 当選は1人1通とさせていただきます。
- 1歳以上のお子様から入場整理券が必要です。
- 記入に不備があった場合や郵便料金が不足の場合は無効となりますのでご注意ください。
- 予選会の入場自由です。ただし、満席の場合は入場をお断りすることがあります。
- 郵便往復はがき以外での応募は抽選対象外となります。
- インターネット等での入場整理券の売買は固くお断りいたします。転売を目的とした申し込みであると判明した場合、抽選対象外とさせていただきます。
- 「返信用裏面」には、抽選結果を印刷しますので、白紙のままお送りください。紙・シール等の貼り付け、修正液や摩擦熱等で文字が消えるボールペンのご使用はお控えください。

ご案内 【観覧】 岩見沢市 生涯学習・文化・スポーツ振興課 0126-35-5129 (午前8時45分～午後5時30分/土日祝除く)
【出場】 NHK札幌放送局 011-218-2400 【24時間音声案内】

【放送予定】 2019年4月21日(日) 午後0時15分～1時
〈総合テレビ・ラジオ第1/全国放送・国際放送〉

【お願い】 ご応募の際にいただいた情報は、選出・抽選結果のご連絡のほか、NHKでは受信料のお願いに使用させていただきますことがあります。

2019年3月の催し物案内

Event info

行 事 名		開場・開演-終演	会 場	入 場 料	主 催 者・問 合 せ 先
2日(土)	平成30年度 北海道教育大学岩見沢校 卒業演奏会・研究発表会	15:30・16:00～	大ホール	入場無料 ※要整理券 窓口取扱	0126-32-0296 教育大学岩見沢校 尾藤
2日(土)-3日(日)	芸術展【書道・絵画・写真・工芸】	一日目 10:00 - 17:00 二日目 10:00 - 16:00	展示室	入場無料	0126-24-3341 岩見沢文化連盟 (月・金 10:00-12:00)
3日(日)	小川寛子音楽教室 発表会	14:30 - 16:00	中ホール	入場無料	0126-23-9645 小川
9日(土)	小島裕子 ピアノ発表会	13:00・13:30-15:30	中ホール	入場無料	0126-23-0773 小島
9日(土)-10日(日)	芸術展【華道】	一日目 10:00 - 17:00 二日目 10:00 - 16:00	展示室	入場無料	0126-24-3341 岩見沢文化連盟 (月・金 10:00-12:00)
10日(日)	胆振東部地震被災地復興支援 和太鼓チャリティー演奏会	13:00-15:00	中ホール	500円 ※中学生以下無料 被災地(胆振管内)住民無料 ※身分証等提示	0126-26-2825 秦野
16日(土)-17日(日)	芸術展【フラワーアレンジメント】	一日目 10:00 - 17:00 二日目 10:00 - 16:00	展示室	入場無料	0126-24-3341 岩見沢文化連盟 (月・金 10:00-12:00)
16日(土)-17日(日)	北海道新篠津高等養護学校演劇部 卒業公演 「よだかの夢」	16日 15:00・15:30-17:00 17日 13:00・13:30-15:00	中ホール	300円 ※高校生以下無料 窓口取扱	0126-58-3280 山田
17日(日)	北海道岩見沢西高等学校 スプリングコンサート	13:00・13:30-16:00	大ホール	入場無料	0126-22-0071 高橋
21日(木)	衣類のくるくる市	10:00-15:00	展示室	入場無料	0126-31-1153 ごみ・環境総合案内所 クリーンエコ
24日(日)	岩見沢地区芸術鑑賞会 「電気信号の音楽とダンス」	13:30・14:00～	大ホール	入場無料	0126-22-4235 はまなすアート
24日(日)	リトルピアノコンサート	13:15・13:30-16:00	中ホール	入場無料	0126-24-5655 南
30日(土)-31日(日)	2019 いわみざわ 住宅新築 & リフォームフェア	両日 10:00-16:00	展示室	入場無料	0126-22-3445 岩見沢商工会議所



編集後記

暦の上ではすでに立春も過ぎましたが、春の気配は感じていますか？雪の多い岩見沢では難しいですね。毎日が雪との格闘です。そんな除雪などで疲れた体を癒すのに、音楽を聴いてみるのはいかがでしょうか。まなみーるロビーでは自動ピアノの演奏を行っている日がございます。季節に合わせた楽曲やアニメソングなど、レパートリーは様々です。毎週不定期ではございますが、詳しい日付はホームページや受付などでご確認ください。ご来館お待ちしております♪

【お問い合わせ先】



HAMANASU ART

発行元／まなみーる岩見沢市民会館・文化センター指定管理
NPO 法人はまなすアート & ミュージック・プロダクション

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター

〒068-0029 北海道岩見沢市9条西4丁目1 TEL 0126-22-4233／FAX 011-351-2556

開館時間 午前9時～午後10時 / 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）



PC サイト www.manamiru.jp

スマホサイトはこちら <http://www.manamiru.jp/sp/>

バス 駅前バスターミナルから中央バスで高速岩見沢号、かえて団地循環線、南町・春日循環線、万字線、幌向線「市民会館前」下車 徒歩1分
JR 函館本線 岩見沢駅下車 徒歩 約10分

